ご意見・ご要望をお寄せください

日本共産党 区議会報告

発行:日本共産党品川区議団
2012年11・12月号　発行責任者:飯沼 雅子
TEL.5742-6818(直通) FAX.3778-3088
ホームページ 共産党 品川 検索

「人のつながり大事にする このまちが好き」

首都直下地震防災の名で

巨大道路と沿道高層化、待った!

ご存知でしょうか。東京都と品川区が防災の名で進める6本もの都市計画道路と沿道高層化の計画。地域から「街がこわされ、絆が断ち切られる」の声が広がっています。

共産党は、住民合意も安全の検証もない、巨額の税金を投入しながら街を壊す道路計画に「待った」をかけ、命と財産を守る防災対策を求めています。

立ち退き1190棟、38町会を分断 絆をこわす道路づくり

6本の道路は幅15～25m、長さ合計7・8㎞。さらに道路の両脇は幅20～30mを高層化する計画です。立ち退きとなる道路上の建物は1190棟、38町会が片側を削られるか、左右に分断。街は大きく変貌します。

影響する商店街も多数、特に戸越公園駅前の商店街は片側がそっくりなくなります。幼稚園の立ち退きや防災公園が大きく削られるなど公共施設への影響も甚大です。

延焼遮断帯と言うが… 車両火災で逆に危険!?

区は道路をつくって、震災時の延焼遮断帯にすると説明します。

共産党は「道路は、市街地大火の輻射熱で車両火災が起こり、さらに連続車両火災の輻射熱で新たな延焼拡大のリスクとなる」と指摘する金沢大学教授らの地震時車両火災の実験結果を紹介し、「車両火災の検証をすべき」と質問しました。区長は「車両火災の数値は必要」と認めましたが、その検証もしないまま道路をつくろうとしています。

連続車両火災が起これば延焼拡大し、逆に危険になるのではないでしょうか。

税金1600億円超

今回の道路づくりに少なくとも1600億円(試算)の税金投入。沿道開発も含めるとさらに膨れ上がります。巨額の税金をつぎ込んで危険を拡大する計画はやめるべきです。

命と財産を守る 耐震化や初期消火対策こそ

阪神淡路大震災の死因の9割が建物倒壊。区内1万4千棟の旧耐震木造住宅の耐震化が急がれています。しかし現状は区が掲げる目標のわずか2%と大変遅れています。耐震診断の無料化や補強工事の助成増額で地震の一撃から命を守る耐震化こそすすめるべきです。

さらに街頭消火器や防火水槽、水道管の耐震化、消防車や消防職員の増配置など初期消火対策の充実へ本腰を入れて取り組むべきです。

そこのけ そこのけ 38町会を通る6本の道路計画

〈補助29号線〉3.49km
大崎:三五・四丁目・一二三町会、品川尚和会、戸越:1・2・4・5・6丁目町会、豊町6丁目町会、二葉4丁目町会、西大井:四・六丁目・五丁目伊藤町会

〈放射2号線〉1.2km
西五反田:七五三・西二町会、荏原:1・2町会、平塚:3・4町会

〈補助31号線〉1.1km
大井:鹿島・庚塚町会、出石町会、西大井四丁目町会

〈補助205号線〉0.3km
西大井:一・二・六丁目・五丁目伊藤町会

〈補助27号線〉1.2km
南大井第四町会、大井:水神・寺下・関ケ原・元芝・立会町会

〈補助28号線〉0.52km
大井:三丁目・倉田・滝王子町会

（戸越公園駅前で署名活動）

「静かなこの街をこわさないで」

このまちに住んで40年。隣近所声を掛け合い、商店街や公園があり、静かなこのまちが好きです。巨大道路でこの街をこわさないでください。

二葉4丁目　池戸アキコ

東京都と品川区 静かな住宅街を 巨大道路と高層ビルに 大改造

（品川区まちづくりマスタープラン素案より）

日本共産党